

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 佐賀県立彩志学舎中学校

1 前年度 評価結果の概要
・コース制での授業を実施し、個に応じた学習指導の実施に向け、授業づくりや教材の工夫に取り組んだ。今年度は、高校への進学を希望する生徒への学習指導の充実を図る必要がある。
・教育相談を年4回実施し、多様な背景をもつ生徒の理解に努めた。また、授業や学校行事において、生徒同士の交流が生まれる取り組みを行うことで、生徒が新たなことへチャレンジし、自己肯定感を高めることにつなげることができた。

2 学校教育目標
一人一人の個性や多様な価値観を尊重し、それぞれの目標に向かって進む生徒を応援する学校

3 本年度の重点目標
①生徒の想いに応える授業や体験活動の充実を図る。
②多様性の尊重と個々のニーズや事情への柔軟な対応を図る。
③誰もが安心して学ぶことができる教育環境の整備を図る。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

Table with columns for evaluation items, focus areas, specific actions, intermediate evaluation, final evaluation, and school relationship evaluation. Includes rows for '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', '業務改善・教職員の働き方改革の推進', and '特別支援教育の充実'.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table for independent evaluation items, including '日本語指導研修の充実'.

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価 次年度への展望
・学習指導においては、熊本県立ゆうあい中学校との合同研修会や、九州の夜間中学からの視察訪問時に、各教科担当の情報交換を行い、一人一人の学びの状況に応じた学習指導の充実にも努めた。また、今年度から高校進学を希望する生徒のためのコースを新たに設けた。さらに、校内横試の実施や県校長会統一テスト(SAGAテスト)への参加し、高校受験に臨む生徒への学習支援を充実させた。
・心の教育においては、今年度から、スクールカウンセラーによる全校生徒との面談及びスクールカウンセラーによる1人の授業(年3回)を実施し、生徒が相談しやすい環境づくりを行った。また、生徒指導及び教育相談担当が連携し、「SOSの出し方」について学ぶ機会を設けた。
・発達障害のある生徒の理解と対応に関する職員研修を実施した。特別支援教育に関する職員研修の機会を増やし、生徒が安心して学ぶことができる教育環境の充実を図りたい。